



りすぐみだより 11月

赤や黄に色づいた木々が美しい季節になりました。子どもたちは散歩に出かけると、イチョウやサクラの落ち葉を拾って、「あっぱ(葉っぱ)、あっぱ」と言ったり、色づいた葉っぱをじっと見つめたりしています。

先日は、親子遠足にご参加くださりありがとうございました。親子でのひとときや他のお友達家族との親睦の場となりましたこと、私たちも嬉しく思っています。

友達はなにをしているのかな？



Aさんがビーズクッションに寝転んでいると、Bさんが近づいてきて、Aさんの横に座りました。BさんはAさんの体を優しくトントンし始め、Aさんはとても気持ちよさそうでした。「Bちゃん、Aちゃんをトントンしてあげるのね？優しいね。Aちゃん、ねんねかな…」と保育者が声をかけると、Bさんは笑顔を返してきました。次は、BさんとAさんが交代して、お互い顔を見合いっこして声を出して笑いながら喜んでいました。



戸外では、Cさんがマーカーコーンを向こうから何回も運んでは置いて、運んでは置いてと遊んでいました。するとDさんもコーンを持ってきました。

Dさんはコーンを2つ合わせて叩いてみると音がするのに気づき、何回も音を出していました。その音を聞きつけて、Cさんも、Eさんも真似っこをして音を鳴らし始めました。保育者は「いい音がしたね！」と答え『おもちゃのチャチャチャ』を歌い出すと、傍にいた子どもたちが、手やコーンを振ったり、叩いたりしてミニコンサートが始まりました。

子どもたちは友達に意識が出てくるようになりました。友達が面白いことをしていると真似っこが始まり、共有する姿が見られるようになってきています。お互いに刺激し合って成長しているので、次は何を見つけるのが楽しみです。



～ 気温に合わせた服装選び ～

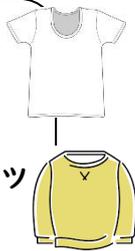
子どもたちは気温が低い日でも元気に走り回り、良く動くので汗をかいていることがあります。重ね着しやすい服装、肌着は綿素材のもの、軽くて動きやすいもの、大人より1枚少なめがちょうどいいといわれています。

< 一日の「最高気温」を目安に >

● 12～14度 ●

「薄手の冬服」

半そで下着やTシャツ
+厚手のロングTシャツ
or トレーナー



● 15～17度 ●

「秋服」

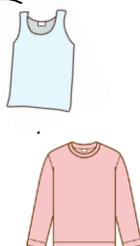
ノースリーブ下着
+厚手のロングTシャツ
or 薄手トレーナー



● 18～20度 ●

「薄手の秋服」

ノースリーブ下着
+ロングTシャツ
Or カットソー



● 21～22度 ●

「夏服に上着」

ノースリーブ下着+半そでTシャツ
+薄手のジャンパーやカットソーで調節を



子どもが汗をかいたり、寒い日でも薄着をしたりすることが大切なのは事実ですが、気温の変化の影響を受けやすく、体調を崩しやすいのも事実です。昼間と朝夕の気温差が大きい季節なので、調整しやすい服装を心がけましょう。